

がんゲノム医療について 先進医療を開始いたしました

「がんゲノム医療」と「がん遺伝子パネル検査」

人のゲノム情報を調べその結果に基づいてがんの予防や治療に役立てることを「がんゲノム医療」と呼びます。がんゲノム医療において、がんに関する複数の遺伝子の異常を一度に調べる検査が「がん遺伝子パネル検査」です。

大阪国際がんセンターでは、大阪大学医学部附属病院と連携して先進医療B*1の指定を受け「がん遺伝子パネル検査」を開始しました。

*1先進医療B 保険給付の対象とすべきものか否かについて評価を行うことが必要な「評価療養」のうち、未承認や適用外である医薬品や医療機器が使用される技術、またはその技術を使用しなくても注意を払って患者の観察および評価をしなければならない医療行為で厚生労働大臣が定めたもの。

- 【先進医療B】** マルチプレックス遺伝子パネル検査
【金額】 約25万円
【検査の対象者】 大阪国際がんセンターにて治療中で、
当センターに病理組織標本がある、
次に該当する患者さんが対象です

16歳以上、病理学的に固形癌と診断（血液腫瘍や肉腫を除く）、手術不能のステージⅢ/Ⅳまたは進行・再発の難治性がんの方（標準治療がない、標準治療が終了している、もしくは終了が見込まれる）、全身状態が良好であること、標準薬物治療による初回効果判定が可能、遺伝子パネル検査のためのがん組織試料として余剰試料が得られること

- 【検査を受けるには】**
主治医・担当医にご確認ください